北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	インターンシップⅡ	科目コード	1269	単位数	2
担当者名	玉井　航太	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	G	実務経験	無
ナンバリング	1269	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

実社会での就業体験を積み、自身の専門性や適性を客観的に評価する機会とします。就職活動に向けた自己理解を深めるとともに、大学での学びを職業実践に結びつける力を養います。実務経験を通じて、将来の職業生活を自律的に設計できる確かなキャリア形成の完遂をねらいとします。

到達目標

各職場での実務において、大学での学びやこれまでの経験を具体的に活用し、組織の一員としての役割を主体的に果たすこと、そして、実社会の厳しさとやりがいの双方を体感する中で、自己の職業適性を客観的に検証し、社会人に求められる責任感を深く自覚できるようになることを目標とします。この実践的なプロセスを通じて、自らの進むべき道を確信し、納得感のある進路選択へと踏み出すことができるようになるでしょう。

授業内容

1週目 ガイダンス（説明会、研修の申込）
2週目 マナー講座
3週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
4週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
5週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
6週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
7週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
8週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
9週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
10週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
11週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
12週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
13週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
14週目 インターンシップ（※１日６時間とみなし、5日以上のインターンシップを必要とする。）
15週目 インターンシップ評価票のフィードバック
16週目 インターンシップ参加報告書レポート

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習については、ガイダンス・講座・毎回のインターンシップ前に1時間程度かけてインターンシップに必要なことを各自が調べておくこと。復習については、ガイダンス・講座・研修を今後の進路につなげるために1時間ほどを費やしまとめること。

成績評価の方法・基準

ガイダンス・説明会への出席状況、実際の研修参加状況(受入先の評価も含む)、所定のインターンシップ参加報告書・課題レポートなどの提出書類の内容によって総合的に評価します。研修参加後にインターンシップ参加報告レポートを提出する必要があることに注意して下さい。

履修上の留意点

本科目は第6セメスターでの履修となりますが、前学期（第5セメスター）に実施されるガイダンスおよびマナー講座の受講は必須の履修条件です。これらの条件を満たさない場合は、本科目の履修登録を行うことができません。また、申請できるインターンシップには所定の要件があり、対象となる実習の条件等はガイダンスで詳しく説明します。年度初めおよびそれ以降にキャリア支援センターから発信される通知を必ず確認し、手続きや準備に漏れがないよう十分に注意してください。
単位認定にあたっては、ガイダンス、マナー講座、評価票のフィードバック、課題レポートの提出も必須です。研修参加に際しては、服装・態度に十分注意して下さい。

課題に対するフィードバックの方法

インターンシップ終了後に企業からの評価表についてフィードバックします。

テキスト

ガイダンスやマナー講座，フィードバックでは適宜資料を配布します。

参考書

完全版 インターンシップの教科書　松高政（編著）ナカニシヤ出版　2200円

更新日付

2026/02/25 04:56